

避難支援アプリを「産」・「学」・「官」が連携して制作します ～連携協定の締結～

- 3月11日で東日本大震災から10年が経過します。本市では東日本大震災を契機に、自助・共助の推進に向けた普及啓発に取り組んでいます。
- 近年、激甚化する風水害や新型コロナウイルスへの警戒が続くなか、災害から身を守るためには、在宅避難や親戚・知人宅等を避難先とする分散避難など、災害時に市民の皆様に迅速かつ適切な避難行動をとっていただく必要があります。
- この度、アプリ制作やAR技術に知見を有する、ファーストメディア株式会社及び学校法人神奈川歯科大学と横浜市で三者協定を締結し、平常時の避難行動計画等の作成から災害時の情報発信等、市民の皆様の避難行動を一体的にサポートする避難支援アプリを制作します。

<協定締結式の概要>

1 日時・場所

令和3年3月10日（水）15時00分～15時15分
横浜市 市庁舎8階 市長応接室（中区本町6丁目50-10）

2 参加者

学校法人神奈川歯科大学	理事長	鹿島 勇
	教授	板宮 朋基
ファーストメディア株式会社	代表取締役	山崎 佳一
横浜市	市長	林 文子

3 次第

- (1) 3者による挨拶
- (2) 写真撮影

4 その他

取材をご希望の場合は、直接会場にお越しください。
協定締結式後に記者会見室にて、詳細説明やAR体験を実施します。



(アプリの機能として想定している、ARを活用した浸水の疑似体験イメージ)

お問合せ先

総務局地域防災課長 石黒 靖雄 Tel 045-671-4095